

## みなみ野中学校区地域づくり推進会議でこれまでに出了地域課題等一覧

No	分類	内容
1	新たなコミュニティの形成	町会の加入率が下がっており、ゆるやかにつながる新しい形のコミュニティが必要。 町会に入っていない人の意見をいかに吸い上げるかが重要。
2	地域活動での人材確保	現在、子どもの見守り活動を保護者だけで行っているが、町会と連携していきたい。
3		みなみ野には、まちの作り手がいるという土台があり、そのうえで新たな担い手をつくり、つなげていくことが重要。
4		団体の担い手が少ない。
5	人材育成	子どもたちがまちの未来について問題提起する教育が必要。
6		みなみ野もいずれ高齢化の問題に直面する時が来るため、若者と世代交代をする仕組みが必要。
7		地域団体をつなげるパイプ役や相談窓口が必要。
8	多様な属性同士のつながりづくり	年代や立場によって考えていることが異なり、気が付かない点が多くあるため、そのギャップを埋める繋がりをつくる仕組みが必要。
9	引きこもりの解決	高齢者が家に引きこもり、なかなか外出しない。
10	居場所の必要性	子どもが集まれる場所が少ない。
11	現役世代・若者の意見の把握	大学にはボランティアセンターがあり、高校には地域活動とつながる仕組みがあるため、こうした仕組みを利用し、若者の意見を聞くことが必要。
12		子育て世代の意見を聞くことが必要。
13		子どもたちが推進会議の参加者となり一緒に話し合う場が必要。
14		普段子どもたちと接している先生の意見を聞くことが必要。
15	多文化共生	外国人市民とのコミュニケーションできる場が必要。
16		将来的に、多文化共生社会を実現していくうえでも外国人の意見を聞くことが必要。
17	活動の場の必要性	サークル活動をする際に活動の場を確保するのが難しい。
18	活動予算の確保	団体に加入する人が減少し、地域活動をしていくうえでの予算が足りない。